

2年ぶりに  
開きます！

“会うこと”  
が何よりの  
ご馳走♪

# サポーターズ PARTY Vol.8 よくばいシンポジウム

～人と人がつながってこの街で  
もっともっとできることあるよね～

## \* パネリスト \*

西牧たかね (“ここあ”学習支援コーディネーター)  
富永りか (子ども・若者ソーシャルワーカー)  
進藤美左 (調布心身障害児・者親の会)  
山本雅章 (調布社会福祉士会)

調布の未来を語り  
合いましょう！

カンパ大歓迎

2022年3月26日(土)


6:00~8:00pm

オンライン開催 (Zoom)

参加費無料 ※参加ご希望の方は申し込みフォームから



3月12日にお申し込みをいただいた方に順次、ZoomのミーティンググループのURLをお知らせいたします。詳しくは、ホームページをご覧ください。

主催：  若者の再出発を支えるネット

ホームページ： <http://sasaerunet.web.fc2.com>

連絡先： 大町 090-8508-9906



支えるネットへ

## <若者の再出発を支えるネット> 今日までの歩み

### つまずいた若者がやり直せる社会をめざして

「若者の再出発を支えるネット」が発足したのは、今から10年前、2012年のことです。きっかけは、「調布中NGO」という高校生の活動でした。「どこに生まれても、自分の進みたい道に進めるように」後輩の中学生を応援する目的を、高校生はそう説明しています。

今、「子どもの貧困」という言葉を多く耳にするようになりましたが、2008年がその再発見の年と言われています。相対的貧困率の高さ、さらには「子どもの貧困」は、その不利が世代を超えて再生産されることで将来に渡って子どもたちを苦しめるということも、大きく取りあげられました。貧困の世代的再生産は、高校入試という分岐点に大きく関わっていることに着目し、「調布中NGO」は、『貧困の連鎖』を断つ」という目標を掲げ、2011年に中学生の学習支援を始めました。

その高校生たちを応援しようと集まったおとなたちは、新たな問題意識を持つことになりました。高校中退を防ぐ、あるいは中退後に学び直したいという若者を支える必要もある。それを実行するため、「若者の再出発を支えるネット」の活動は始まりました。

### 『夢』にむかって一歩ずつ進む

2015年秋には、調布市子ども・若者総合支援事業“ここあ”がスタートし、市をあげて、子どもたち若者たちが自分の可能性を充分伸ばせるように支援する取り組みが始まりました。私たち「支えるネット」も、この事業と連携し、事業の隙間を埋める活動をしています。

2017年には、子ども・若者を支える新たな枠組みができました。11月1日に正式に発足した、「調布市子ども・若者支援地域ネットワーク」です。これまでも必要に応じて協力してきた団体や公的機関などが、法律に基づいて公式に連携できることになったのです。「支えるネット」もその輪に加わることが決まりました。

「一度つまずいた若者がやり直せる社会をつくる、それを調布から始めたい」多くの人から見えるように旗は高く掲げよう！と、敢えて高く掲げた理想が、もう『夢』ではなくなった、そんな実感が湧きました。

### 想いを紡ぐ<サポーターズパーティー>を

その矢先、襲ってきたのがコロナウィルスです。感染拡大に伴い、児童養護施設「調布学園」で月に1回開いていた小6学習会も実施できなくなりました。そして2013年以来、毎年開いてきた<サポーターズパーティー>も2度に渡り中止せざるを得なくなりました。

パーティーはできなくても「子どもや若者の幸せと未来の可能性のために、手を結び、力を合わせよう」という私たちの想いは変わりませんでした。むしろこんな時だからこそ必要なことは何かと考え、その結果実現したのが、休校中給食がなくなって困っている家庭に食料を郵送する“宅食プロジェクト”です。

(詳しくは、支えるネットのホームページをご覧ください。)

そして、昨年11月23・24日には、“コロナ困りごと相談会 in 調布”の開催にも全面的に協力しました。その余韻の残る12月28日の例会で、私たちは今春<サポーターズパーティー>を開く決断をしました。

「ほんとはこんな街にしたいんだ」それを多くの人と一緒に語り合う、それが<サポーターズパーティー>の原点だからです。

